



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社

コード番号 4182 URL <http://www.mgc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長

(氏名) 北川 元康

TEL 03-3283-5041

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	343,406	0.6	9,192	△53.7	22,616	△18.0	9,159	△29.3
23年3月期第3四半期	341,519	22.3	19,868	—	27,578	—	12,956	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,185百万円 (△90.0%) 23年3月期第3四半期 11,810百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	20.27	20.01
23年3月期第3四半期	28.66	28.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	584,744	285,158	47.1
23年3月期	577,045	288,257	48.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 275,117百万円 23年3月期 278,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	△0.2	7,000	△70.0	24,000	△34.1	11,000	△42.0	24.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	483,478,398 株	23年3月期	483,478,398 株
24年3月期3Q	31,661,663 株	23年3月期	31,471,354 株
24年3月期3Q	451,909,659 株	23年3月期3Q	452,028,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) その他注記情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループにおける当第3四半期連結結果計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)の業績は、売上高3,434億円(前年同期比18億円増(0.6%増))、営業利益91億円(前年同期比106億円減(53.7%減))、経常利益226億円(前年同期比49億円減(18.0%減))、四半期純利益は91億円(前年同期比37億円減(29.3%減))となりました。

東日本大震災や円高の進行、原料価格の上昇、欧州・中国を中心とした世界的な景気の減速による影響を受けたことに加え、液晶向け一部製品の需要が減少したことから、営業利益は前年同期を大きく下回る結果となりました。持分法利益は、メタノール市況の上昇を受けて海外メタノール生産会社を中心として増益となりましたが、経常利益は減益となりました。

なお、特別損益は大きく改善しましたが、平成23年度税制改正などにより、繰延税金資産の一部を取り崩した結果、四半期純利益も減益となりました。

[天然ガス系化学品事業]

メタノールは、中国を中心とした堅調な需要とエネルギー価格の高止まりが続き、市況が上昇したことから、増収となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、アンモニアやMMA系製品の販売価格が前年同期を上回りましたが、ネオペンチルグリコールの市況下落やアミン類の販売数量減少などにより、減益となりました。

酵素・補酵素は、コエンザイムQ10の販売が低調に推移したため、前年同期を下回る損益となりました。

原油その他のエネルギー販売は、原油販売価格の上昇により、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は1,150億円(前年同期比55億円増(5.1%増))、営業利益は3億円(前年同期比5億円減(61.4%減))となりました。また、海外メタノール生産会社が増益となり、持分法利益を127億円計上した結果、経常利益は119億円(前年同期比52億円増(78.5%増))となりました。

[芳香族化学品事業]

特殊芳香族化学品は、MXナイロンや芳香族アルデヒドは前年同期並みの収益となりましたが、メタキシレンジアミンが欧州向けを中心としてエポキシ樹脂硬化剤用途やポリアミド用途の販売数量が減少したほか、円高や原燃料価格の上昇の影響を受け、減収減益となりました。

高純度イソフタル酸は、販売価格が前年同期を上回ったものの、円高や原燃料価格上昇の影響を受け、損益の改善幅は微増にとどまりました。

以上の結果、売上高は972億円(前年同期比120億円増(14.1%増))、営業利益は0億円(前年同期比12億円減(98.4%減))、経常損失7億円(前年同期比14億円悪化)となりました。

[機能化学品事業]

工業用無機薬品類は、震災からの復旧以降も紙パルプ向けを中心とする国内需要の低迷により、過酸化水素の販売数量が減少したことなどから、減収減益となりました。

電子工業用薬品類は、半導体洗浄用の超純過酸化水素の国内向け販売数量が減少しましたが、海外向けや半導体・液晶向けのハイブリッドケミカルが堅調に推移したことから、増収増益となりました。

エンジニアリングプラスチックは、ポリアセタールが海外を中心として堅調に推移しましたが、ポリカーボネートが震災から復旧した後も国内需要減少の影響を受けたことから、減収減益となりました。

ポリカーボネートシート・フィルムは、携帯電話向けハードコートシートが堅調に推移しましたが、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの販売数量が大きく減少したことから、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は903億円(前年同期比101億円減(10.1%減))、営業利益は59億円(前年同期比64億円減(52.1%減))となりました。また、持分法利益を14億円計上した結果、経常利益は64億円(前年同期比73億円減(53.4%減))となりました。

[特殊機能材事業]

電子材料は、半導体パッケージ向けBT材料が、被災したエレクトロテクノ(株)の早期復旧の直後は高水準の受注があったものの、一時的な製造コストの増加に伴う採算悪化や、ユーザーの在庫調整と実需不振の長期化で汎用用途を中心に販売数量が減少したことなどにより、減収減益となりました。

「エージェレス®」などの脱酸素剤は、国内の食品分野や海外の医療分野で堅調に推移したことから前年同期を上回る収益となりました。

以上の結果、売上高は402億円(前年同期比55億円減(12.2%減))、営業利益は36億円(前年同期比28億円減(43.3%減))、経常利益は36億円(前年同期比27億円減(42.9%減))となりました。

[その他の事業]

その他の事業の売上高は5億円（前年同期比 0億円増（5.2%増））、営業利益は1億円（前年同期比 0億円減（11.7%減））、経常利益は13億円（前年同期比 7億円減（35.4%減））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金などが減少した一方で、期末休日要因により受取手形及び売掛金が増加したことや、商品及び製品、有形固定資産などが増加したことなどにより、前連結会計年度末比76億円増加の5,847億円となりました。負債は、期末休日要因により支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、107億円増加の2,995億円となりました。純資産は、利益剰余金の増加があったものの、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少などにより、30億円減少の2,851億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前回業績予想発表以降、欧州債務問題の深刻化、中国経済の減速、円高の継続、タイ国の洪水被害など、当社事業を取り巻く環境は一層深刻度を増しています。

このため、高純度イソフタル酸を始めとした化学品のマージンが急激に悪化するとともに、全般的に販売数量が計画を大きく下回って推移しております。

また、平成23年12月2日に平成23年度税制改正及び復興財源確保法が公布されたことに伴い、実効税率を変更するとともに、繰延税金資産の回収可能性の見積りについて見直し、繰延税金資産の一部取崩しを見込むこととしました。

なお、業績予想の前提となる為替レートについては、1米ドル77円、1ユーロ105円に見直しております。

平成24年3月期 通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	470,000	14,000	31,000	24,000	53 10
今回発表予想 (B)	450,000	7,000	24,000	11,000	24 34
増減額 (B - A)	△20,000	△7,000	△7,000	△13,000	—
増減率 (%)	△4.3	△50.0	△22.6	△54.2	—
(参考) 前期実績 (平成23年3月期)	451,033	23,363	36,394	18,950	41 92

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,964	27,918
受取手形及び売掛金	112,029	120,673
有価証券	613	2,399
商品及び製品	36,334	46,409
仕掛品	10,312	10,760
原材料及び貯蔵品	21,570	22,052
その他	16,476	15,290
貸倒引当金	△778	△792
流動資産合計	244,522	244,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,453	49,728
機械装置及び運搬具（純額）	66,884	59,646
その他（純額）	59,485	79,140
有形固定資産合計	176,823	188,516
無形固定資産		
のれん	56	92
その他	4,175	4,261
無形固定資産合計	4,231	4,353
投資その他の資産		
投資有価証券	131,047	129,712
その他	20,883	17,881
貸倒引当金	△462	△433
投資その他の資産合計	151,468	147,160
固定資産合計	332,523	340,030
資産合計	577,045	584,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,108	70,390
短期借入金	69,845	88,968
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払法人税等	1,869	1,066
引当金	5,912	2,185
その他	24,791	26,896
流動負債合計	182,527	189,506
固定負債		
社債	—	15,000
長期借入金	75,850	56,521
退職給付引当金	5,402	6,783
その他の引当金	1,302	1,432
資産除去債務	3,472	3,496
その他	20,232	26,845
固定負債合計	106,260	110,078
負債合計	288,787	299,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,591	35,593
利益剰余金	236,597	241,916
自己株式	△7,920	△8,037
株主資本合計	306,238	311,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,197	1,542
繰延ヘッジ損益	—	△444
土地再評価差額金	192	192
為替換算調整勘定	△32,531	△37,614
その他の包括利益累計額合計	△28,142	△36,325
少数株主持分	10,161	10,041
純資産合計	288,257	285,158
負債純資産合計	577,045	584,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	341,519	343,406
売上原価	279,404	291,426
売上総利益	62,115	51,979
販売費及び一般管理費	42,247	42,787
営業利益	19,868	9,192
営業外収益		
受取利息	108	98
受取配当金	1,107	1,230
持分法による投資利益	11,921	16,154
その他	1,175	1,256
営業外収益合計	14,312	18,739
営業外費用		
支払利息	1,552	1,425
出向者労務費差額負担 為替差損	1,162	1,156
その他	1,937	605
その他	1,950	2,128
営業外費用合計	6,602	5,316
経常利益	27,578	22,616
特別利益		
受取保険金	—	440
投資有価証券売却益	—	117
持分変動利益	—	17
固定資産売却益	232	—
特別利益合計	232	574
特別損失		
投資有価証券評価損	6,257	1,544
災害による損失	—	573
環境改善対策費用	296	498
訴訟関連損失	—	102
減損損失	579	31
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,777	—
関係会社整理損失引当金繰入額	1,610	—
特別損失合計	10,521	2,750
税金等調整前四半期純利益	17,290	20,439
法人税等	3,359	10,288
少数株主損益調整前四半期純利益	13,930	10,150
少数株主利益	974	991
四半期純利益	12,956	9,159

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,930	10,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,672	△2,654
繰延ヘッジ損益	—	△494
為替換算調整勘定	△1,471	△1,576
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,321	△4,239
その他の包括利益合計	△2,120	△8,965
四半期包括利益	11,810	1,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,035	627
少数株主に係る四半期包括利益	774	558

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	天然ガス系 化学品事業 (百万円)	芳香族化学品 事業 (百万円)	機能化学品 事業 (百万円)	特殊機能材 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	109,477	85,228	100,478	45,780	554	—	341,519
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,289	767	3,577	343	77	△8,056	—
計	112,767	85,995	104,056	46,124	632	△8,056	341,519
セグメント損益 (経常損益)	6,678	642	13,739	6,319	2,064	△1,866	27,578

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント損益の調整額△1,866百万円は、セグメント間取引消去406百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,272百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「天然ガス系化学品事業」セグメントにおいて232百万円、「芳香族化学品事業」セグメントにおいて346百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	天然ガス系 化学品事業 (百万円)	芳香族化学品 事業 (百万円)	機能化学品 事業 (百万円)	特殊機能材 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	115,064	97,241	90,301	40,215	583	—	343,406
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,507	1,298	729	0	62	△7,597	—
計	120,572	98,539	91,030	40,215	645	△7,597	343,406
セグメント損益 (経常損益)	11,918	△773	6,406	3,609	1,334	120	22,616

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント損益の調整額120百万円は、セグメント間取引消去144百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△23百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他注記情報

(追加情報)

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

・災害による損失に係る保険金収入の計上予定について

当社および連結子会社は、保有している主要なたな卸資産、固定資産等に対して、単独または共同で損害保険を付保しております。平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した当社鹿島工場及び連結子会社エレクトロテクノ株式会社のたな卸資産、固定資産等は、火災保険の地震特約(保険金額22億円・免責5億円)の共同付保対象となっております。

当第3四半期連結累計期間において、当該被災に係る保険金の一部が確定したことにより、特別利益に受取保険金として計上しております。

なお、未確定の保険金につきましては金額が確定次第、計上を予定しております。